

令和8年度 上富良野中学校 学校経営方針

1 本校の教育目標

(1) 本校の校訓と教育目標

教育目標 『輝かしい未来を築く たくましく 心豊かな生徒の育成』(S46 制定)

校 訓 「熱 意」自らの生活を向上させようとする気持ち
「創 意」より楽しい学校生活を送ろうと工夫する気持ち
「誠 意」仲間を大切にすること (S46 制定)
○教育目標を日常の教育活動に生かすため、校歌のもつ意味から、生徒実践目標(生活信条)として設定したものである。

(2) 本校の目指す姿

【目指す学校像】

- 明るく意欲的に活動する学校
- 学び 夢 感動を育てる学校
- 信頼され 地域に生きる学校

【目指す生徒像】 (身につけさせたい資質能力)

- 自ら考え判断し、行動できる姿(判断力・行動力)
- 他を思いやり、共に向上しようとする姿(コミュニケーション力・許容力・自己向上力)
- 明朗快活で、健康な姿(人間力・人間性)

【目指す教職員像】 ※前述「学校経営にあたって」より

- 温かくそして誠意をもつ教職員
- 社会人としての教職員
- 学び続ける教職員
- 協働できる教職員
- プロ意識をもつ教職員

2 本年度の重点教育目標及び指標

☆前述した本校の課題をふまえて、令和8年度の活動については、

- 夢や目標を実現させる生きる力を確実に育み、自分の考えをまとめ・表現する力の育成
- 他を認め・支える姿勢を育むとともに、目的を共有し、共に行動する力の育成
- キャリア教育を通して、将来の自分をイメージさせ、より視野を広げる活動の設定を念頭におき、本年度の重点目標を次の通り定める。

(1) 本年度の重点目標 **『自己実現』と『連携強化』**

(2) 重点目標の達成に向けて

「自己実現」 ①生きる力の確実な育成

②将来を意識した目標の設定とその実現にむけた取組を重点化（キャリア教育）

「連携強化」 ①自分を見つめ、周囲を理解し、認め、大切に作る心の育成（個に関する事）

②主体的に行動するとともに、力を合わせる場面の設定（生活面・学習面）

③自分を取り巻く周囲との連携強化（仲間、同僚、保護者、地域など）

(3) 重点目標とその指標

◎重点目標	指 標
◎『自己実現』 ○生きる力の確実な育成 （確かな学力、豊かな心、健やかな体） ○将来を意識した目標の設定とその実現にむけた取組の重点化（キャリア教育）	□学校評価の項目 項目1、2、3、7、8 □全国学力学習状況調査 全国平均以上 □全国体力運動能力調査 全国平均以上
◎『連携強化』 ○自分を見つめ、周囲を理解し、認め、大切に作る心の育成 ○主体的に行動するとともに、力を合わせる場面の設定と実践 ○他（仲間、同僚、保護者、地域など）との連携強化	□学校評価の項目 項目4 項目5、6

【参考資料：学校評価アンケート（生徒、教職員、保護者）※太字は改善、斜体字は課題】

	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8
質問内容	明るく安全な学校生活	意欲的な学習・学力の定着	自ら考え・判断する力	あいさつやマナー、思いやり優しさの心	自主・自立の心	周りと協力し、やり遂げようとする心	安心・安全に生活する習慣	基本的な生活習慣、健康と体力の向上
7月平均	3.54	2.86	3.02	3.55	3.41	3.62	3.42	3.29
12月平均	3.60	2.92	3.04	3.52	3.41	<i>3.55</i>	3.41	3.30

3 学校経営の基本方針

次期学習指導要領に向けた動きがあるなかで、学校には、①「生きる力」を確実に育むことが求められている。そのためには、令和の日本型教育を見据えながら、本校の教育活動全体を俯瞰し、カリキュラムマネジメントを軸とした開かれた教育課程の実現が必要である。更に、GIGAスクール構想に基づく②ICT機器の授業や家庭での更なる活用、③探求的な学習や体験活動の設定、④特別支援教育の更なる充実により、全ての生徒を支援が必要な生徒として意識しながら、個別最適な学びや協働的な学びを通して、教育の質の向上を図らなければならない。その流れのなかで、これらの活動を進め支える⑤教職員の指導力の向上は、欠かすことができない。校内研修や関係機関が主催する研究会等に参加しながら、教師が主語となる研修環境の充実を目指す。そのことが、「生徒が主語となる授業改善」につながり、生徒はもちろんのこと、教師にとっても『自己の実現』につながっていく。

また、生徒を取り巻く環境は、日々目まぐるしく変化しており、内に閉じこもる生徒が増えている傾向がみられる。それゆえにこれまで以上に、生徒一人ひとりを複数の教師で支援することが重要である。また、直面する学校課題などで、教師の負担が増大している中で、教育の質の向上を果たすためには、⑥「チームとしての学校」の確立が必要である。教師がやりがいをもって活躍できる場を整備しながら、保護者や地域、教育関係機関との連携を深め、「チーム上中」という意識で学校運営を推進する。そうすることが、結果的に働き方改革にも繋がると考える。

4 本年度の経営活動の重点的取組

(1) 学習指導

○主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業の実践	・ 学び合い等、他者と協働しながら、自己の考えを広げ深める場面や見方、考え方を働かせ、より深く理解したり、考えを形成したりする場面の設定 ・ 総合的な学習の時間における探求型学習の検討
○「わかる・できる」を実感できる学びの提供	・ 授業における課題提示および振り返りの場面の設定 ・ 単元を一区切りとした、観点別評価のより適切な評価のあり方の検討
○基礎学力の定着とICT機器等の利活用	・ ICT機器の活用および定期テストの見直しを図るとともに、計画的・主体的に学ぼうとする姿勢の育成 ・ CBTシステムや学習アプリケーション等の効果的な活用

(2) 生徒指導

○組織的かつ予防的な生徒指導の実践（早期発見・早期対応）	・ 「生徒指導提要」の改訂の趣旨を踏まえ、予防的かつ共感的生徒指導を推進 ・ 生徒指導部を中心とした組織的且つ適切な対応
○いじめを許さない風土の醸成	・ いじめ防止に関わる調査結果の共有と指導の方向性の確認 ・ 生徒会を中心とした生徒の手による啓発活動
○家庭と連携した望ましい生活習慣の確立	・ 教育相談におけるアドバイスや学校便り、学年・学級懇談等での啓発 ・ 各種調査結果を生かした保健指導の充実

(3) 特別支援教育

○個々の障がいや発達に応じたより望ましい特別支援教育の推進	・すべての生徒を対象として、全教職員による支援体制の充実 ・通級指導教室を活用した通常学級における特別支援教育の充実 ・共生社会の実現にむけたインクルーシブ教育の推進 ・コーディネーターや SC、関係機関との連携強化 ・各種対外的な研修への参加と環流によるスキルの習得 ・ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた環境整備や指導方法 ・個別の教育支援計画および指導計画の更新と適切な評価
○通級指導教室や家庭との連携を大切にしない不登校対応	・不登校担当教諭を軸とした「不登校傾向対応マニュアル」による迅速かつ適切な対応 ・定期的な電話連絡や家庭訪問を通して、保護者との連携強化 ・通級指導教室および SC や町教育支援センター等、関係機関との連携強化

(4) 道徳教育

○自主的に考え・判断・実行し、その結果に責任をもち、やさしさや思いやりの心を育む道徳教育を推進する。	・道徳的心情を深め、実践力を高める教育活動の推進 ・生命はもちろんのこと他を尊重する態度の育成 ・「考え、議論する道徳」に向けた授業改善
--	--

(5) キャリア教育

○社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付ける「キャリア教育」を推進する。	・将来を見据え、特性や能力に応じた、個に寄り添う進路指導の充実 ・望ましい職業観・勤労観を育む地域と連携した職場体験学習の推進 ・教育相談、進路相談等を通して、自己理解を深めるとともに夢の実現に向かう姿勢の育成
---	---

(6) 特別活動

○「心の居場所」を意識した学級学年経営の推進	・生徒一人ひとりが所属感や自己有用感を感じる経営の推進 ・運動会、学校祭他、学校行事や集会活動の工夫 ・良いところは褒め、改善点は説諭を通して正すメリハリのある指導 ・スポーツレクリエーションの実施
○生徒の自発性や主体性を育む生徒会活動の実践	・全校集会や各種行事における生徒主体の活動の推進 ・自発的、自治的に活動し、高まり合う集団づくり

(7) 総合的な学習の時間

○探究的な見方・考え方を働かせ、自己の生き方を考えるための資質・能力を育む学習の実践	・ 職場体験やボランティア活動、制作・表現活動、観察、見学、調査、発表、討論などの活動や教科横断的な学習の実施 ・ 自己を理解し、将来の生き方を考える学習活動の推進
--	---

(8) 健康・安全指導

○安心・安全な教育環境の整備	・ 自転車運転マナーの一層の向上と交通ルール of 徹底 ・ 自然災害に備える防災・減災教育の実施 ・ 性教育をはじめ、薬物乱用防止教育や情報モラル教育の推進 ・ 危機管理マニュアルの更新
○健やかな成長を促す健康・体力づくりの推進	・ 全国体力、運動能力、運動習慣等調査の結果を共有し、体力・健康に関する指導の推進 ・ 健康診断等の各種調査結果に基づく、事故の未然防止および防災、安全指導等の危機管理の実践 ・ 食育の推進や、生命の大切さを自覚させる指導の充実

(9) 連携強化

○つながりを意識した教育活動の推進	・ 仲間との協働を通して、よりよい人間関係を構築する場面の設定 ・ 様々な教育課題に、柔軟かつ適切な対応ができるチームの確立 ・ 学級、学年、分掌間の機能的なつながりの構築 ・ 校内委員会の活性化
○信頼を高める学校の確立	・ 説明責任を果たすための積極的な情報発信 ・ 学校運営協議会（CS）を活用しながら、保護者および地域の意見要望をうけとめ、信頼構築に向けた学校運営の推進 ・ 生徒の意欲的な学びを喚起させるため、地域との交流や人材活用を推進
○円滑な接続の確立	・ 町の幼保&小中連携協議会の効果的な運用
○他機関との連携強化	・ 職場体験、避難訓練、アシスタントティーチャー（空手指導、スキー指導、和楽器指導等）の活用 ・ 部活動外部指導者の活用 ・ 各種地域行事等への参加

(10) 事務管理

○適正かつ効率的な学校運営を担う学校事務の推進	・ 学校予算の計画及び適正執行に務めるとともに、会計の厳正な管理及び定期的な監査の実施 ・ 個人情報及び施設設備、諸公簿、備品等の確実な管理・保管 ・ 学校事務の適正かつ効率化を図り、学校運営の充実
-------------------------	---

(1 1) 働き方改革

○全職員が支え合う「チーム上中」をめざすとともに、業務の効率化・省力化を推進し、教育の質の向上を実現	・教育の質を高めるとともに、様々な学校課題の解決に向けて、教職員との面談やアンケートの積極的な活用 ・定時退勤日の設定と実施、閉庁日の設定 ・割振なし等の勤務不要日の適切な運用 ・見通しを持って計画的に業務を進める個々の自己マネジメントと意識改革 ・諸会議の効率化（時間設定やペーパーレス等） ・分掌の複数体制を生かした確実な引き継ぎ ・どんなときでも、どこでも、どんなことでも相談できる雰囲気醸成 ・チームの一人として、全体を俯瞰的にとらえ、共により良くしていこうとする心のつながりの意識
--	---

(1 2) 部活動

○礼儀を重んじ、望ましい人間関係の育成を目指した部活動の推進	・生徒の心身の健全な発達と望ましい人間関係形成能力の伸長 ・場に応じたマナーや言動とすがすがしい挨拶の励行 ・複数顧問体制の活用と適切な活動時間や休養日の実施による働き方改革の推進
--------------------------------	--